



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

WORLD UNDERSTANDING AND PEACE THROUGH ROTARY

“ロータリーを通じて、世界理解と平和を”

1981-82 R.I 会長 スタンレーE、マックヤブリー

第158回例会 56年8月13日 第154号

伊藤会長テーマ 身近かな奉仕に誠を尽そう

出席報告

司会 SAA 佐藤 実

会員数	出席数	出席率	前回の修正
41名	34名	82.93%	100%

本日のプログラム

若年者の躰について 青山浩氏

欠席者

合田、古木、布施、中西、大高、鈴木、竹本

次週予定

家族会

〈ゲスト〉

青山浩氏（八千代信用金庫研修課長）

が変更になりますので、間違いのないようお願い致します。詳しくは後に親睦委員長さんから具体的にご案内があります。

〈ビジター〉

上坂信夫君（東京港南），赤枝雄一君（横浜中），田島光治君（藤沢），村上哲也君（藤沢北西），高田稔君（厚木），藤好一夫君，保志順一君，近藤寿吉君（横浜瀬谷），星幸男君，黒川孝君，大角浩一君，北原敬二君（大和）

② 地区米山奨学委員会から第一回米山委員会が開催されますが委員長の猪熊さんをお願いしました。

〈会長報告〉

会長 伊藤正男

本日は特にございませんが、オーストラリアの西トワンパロータリークラブから交換生10名程のペンフレンド交換をしたいと言う申し入れがありました。こちらからは英語で出し、向う様からは日本語で頂くことになり、国際委員長の有沢先生をお願い致しました。優秀手紙は年末に発表いたします。

〈委員会報告〉

親睦委員長 伊藤英夫

8月20日の家族会は、新戸キャンプ場で行います。午前10時に各々会場にお集り下さい。行先案内地図は、出席の方々にお配り致しましたが、なお、不明の方は例会後ご説明しますのでお申し出下さい。

本日のお祝いの方々を発表します。

御夫人お誕生日 竹之内弘美君孝子夫人

（8月18日）

入会記念日 中西 功君（53年8月17日）

〈幹事報告〉

幹事 辻 国明

① 次週の例会は、家族会に当たりますので例会場

〈卓話要旨〉

若年者の躰について

八千代信用金庫研修課長 青山 浩氏

現今の社会生活に於ける人々の躰が大変乱れて

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和中央1-5-40

大和市商工会館内

☎ 0462-63-7926

例会場：大和市大和南1-4-4

八千代信用金庫大和支店4階

☎ 0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より

会長：伊藤正男

副会長：寺田伍六

幹事：辻国明

会報委員：古木・大高・合田・松本(三)

いることが問題視されている。

例えば、小田急の新宿駅などで急行電車に乗る場合、整列して順番に乗車することになっていますが、若いお母さんは子供を良いことに列をかき分けて割込み座席を取らせ、自分で澄した顔して子供の間座ることも平気である。

躰は幼小時2～3才から必要である。

子供は、のみ込みが早く、又素直で親の言う事は何でも良い事と思い、いとも簡単に実行してしまうので、母親は我が子が可愛いければ可愛い程厳しく躰をする事がよいのではないのでしょうか。

マナーは子供の時から仕込むもの、立派な社会人に子供を育て上げる為の、大切な第1歩であることを親は新たためて認識すべきであろう。

日本人は特に“甘え”の思想が多分にある。欧米にこの反対である。

学校では、躰を行っていないのが現状であり、同僚や上司に対する敬語は全く見られないからで社会に出ると対人関係について立派な成人として認められないでしょう。

先輩の躰が整っていないことは、後輩を躰ける上で障害であることに留意しなければならないと思います。

新入社員は、新入時の躰がチャンスであり、仕事を教える前に、社内躰教育を充分に行い、企業としては、社内的にも社外的にも気持の良い社員であれば業績も自ずと発展する事と思います。又マナーは仕事の一部であり、給料の一部である事を心得させる事が肝心でしょう。

部下を仕込むには、口に出してハッキリと物を教え、遠慮するようではダメである。

物事を教えることは、良く出来たことを誉めてあげることで、一番安上りなことで、気分は共に宜しく健康的であります。

八千代信用金庫では

お客様への頭の下げ方を入社時の躰として第1歩から始めております。当然仕事の指導もしなければならぬのですが、当金庫としては、お客様に接し気持ち良い応対が出来る人間創りを基本に研修をしております。

一年間に亘る新入社員教育としてマナーに対する研修を最優先して実施することになっています。

八千代信用金庫の新納理事長は

“**実るほど、頭たれる 稲穂かな**”をいつも社訓のように新入社員は勿論全員にいつも申し述べているのです。

良く出来た人物こそ頭を下げることに踏わない頭を下げることは古来より生活の中で取り交された日本の習いではないでしょうか。

以上要旨をまとめましたが、青山先生は具体的に一つ一つ例を引出し卓話され、誠に最もである感じがしました。最近教育の荒廃等、耳にしますが私はそうでなく、身近な家庭から日常茶飯においてお互に美しい社会創りを覚悟すよう心掛ける必要があり、それは大人にも責任があり、自からを正して若年者への躰に努力するようロータリーアンの皆様のご協力を願いたい。

〈スマイルボックス〉 委員長 石渡英二郎

赤枝君（横浜中）初めて参りました。今後ともよろしくお願い致します。

保志君（横浜瀬谷）本日はお世話様になります。

数ヶ月前に亀谷先生に大変お世話になり、ありがとうございました。

田島君（藤沢）本日はお世話になります。

星君（大和）本日もよろしく。

星川君（大和）久しぶりに出席させて戴きます。

北原君（大和）暫くぶりです。本日はよろしく。

大角君（大和）たびたびおじゃましますよろしく。
竹之内君 妻の誕生日を祝って頂き有難うございます。

三浦君 先週は大事なスピーチを休み申し訳ありませんでした。

石渡君 家族会木曜日なので楽しんでおりましたが都合でどうしても参加出来ません。申訳なし。次回は参加します。